

# 知財・無形資産を活かすビジネスアーキテクト

～ビジネスアーキテクトが実装している最強の知財経営～

— 講師 — 株式会社野村総合研究所 プリンシパル 林 カー 氏

日時 2025年1月24日(金) 午前10時～12時  
 受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)  
 会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

## [重点講義内容]

企業の経営／事業／技術企画などに経営／事業戦略策定のご支援している戦略コンサルタントが、知財・無形資産を生かす『ビジネスアーキテクト』が実装している最強の知財経営について解説します。ビジネス・アーキテクトの役割は、既存事業にどのような事業を繋げると事業をスケールさせることができるか、顧客ニーズを捉えて、ビジネスの全体像を描くことにあります。特に、知財経営は、日本企業がこれまで知財を事業戦略・R&D 戦略の「後工程」として捉えてきたのに対し、自前主義を脱却してエコシステムでの戦い方が勝ち筋である現代では知財や無形資産は企業戦略の「前工程」としても機能すべきです。具体的な戦略策定など実務対応も踏まえて、知財を基盤とした新たなビジネスモデルの設計や、ビジネスアーキテクトの役割をどのように育成・活用するかについて、解説いたします。

### 0. 背景 | なぜ日本は「失われた 30 年」と言われるのか

#### 1. 攻めのオープンな知財戦略の意義

#### 2. ビジネスアーキテクトが実装している最強の知財経営

##### — 知財を基盤とした知財経営の具体的な設計 —

- 具体的な設計1: 事業／技術・知財ポートフォリオ評価
- 具体的な設計2: 知財を基盤とした新たな事業戦略の策定
- 具体的な設計3: 知財を活かした R&D 戦略の策定(コア技術評価／技術・知財開発責任の考え方)
- 具体的な設計4: イノベーションジレンマを解消するためのビジョン設定と組織改革
- 具体的な設計5: 知財を活かしたソリューションビジネスの展開
- 具体的な設計6: オープン&クローズ戦略
- 具体的な設計7: 知的資本経営
- 具体的な設計8: マザーマーケット参入戦略／途上国での競合台頭に対する攻めの知財戦略
- 具体的な設計9: 知財から未来構想化してインナー・アウターブランディング
- 具体的な設計10: グローバル IP マネジメントポリシーの策定

#### 3. ビジネスアーキテクトの役割と、どのように育成するか

#### 4. 質疑応答／名刺交換

## PROFILE 林 カー(はやし りきかず)氏

### 経歴

■ 日立製作所(SAN, CDMA) ■ トヨタ自動車(エンジン, HV) ■ 三菱重工業(水処理, 化学プラント, CCS, リージョナルジェット, 風車, ターボ, 船舶エンジン等) ■ LIXIL グローバル知財部長 ■ 外資コンサルティング会社 ■ 株式会社野村総合研究所入社 プリンシパル

### 専門

■ 経営戦略策定(中長期計画, ビジョン策定) ■ 事業ポートフォリオ評価, 評価結果に基づくBX, 将来の事業破壊される可能性の評価と対抗戦略 ■ 事業戦略策定(用途展開, プラットフォーム戦略, エコシステム戦略, 海外市場進出), 経営と知財の融合 ■ ESG, GX 戦略 ■ プレ戦略的提携/M&A 戦略策定・ビジネス/技術・特許 DD・PMI ■ 企業知財マネジメント ■ 工学修士, MBA, 法学士, 弁理士

### 主要プロジェクト

- グローバル市場を拡大のために、企業の知財(ブランド・特許)を活用するエコシステム戦略
  - グローバルで事業組立てに必要なスタートアップを探し、クライアントの技術と結合させ新商品企画, PoC による潜在顧客へ提案, 知財含む交渉戦略策定
  - 自治体と企業とのフォーメーションで、環境負荷低減に関する新事業策定, 自治体で財政を考慮して政府に対して補助金を企画のロビー活動も含む
  - 欧州など地域ごとの HEMS/BEMS 事業の開発, HVAC を提携の動機として各領域での販売チャネル確保のための戦略的提携
- 企業の知財(ブランド・特許)を活用した、モノからコト売り事業転換
  - カーボンクレジット/CO2 活用事業展開による EPC のプラットフォーム戦略
  - 蓄電池の新たな部材の事業開発のために、バッテリーパッケージ化に必要なエコシステムの構築と, OEM や UPS サプライヤーなど顧客との PoC 企画
- その他事業開発
  - EV の Li バッテリー(正極材, セパレーター, 全個体電池), 亜鉛電池, 光電材料, 製膜
  - VPP, EV フリート, 次世代通信車載モジュール
  - スマートマニュファクチャリング, MEMS/HA
  - mRNA 創薬, 機能性食品, 食品・保存食, 培養肉
  - 水素/アンモニア事業(素材, 重工, 燃料業界), メタネーション/SAF, CCUS, カーボンクレジット
  - 光通信ケーブル, 光電融合, 量子コンピュータ活用創薬, 生体認証, Embedded Finance

●受講料	各受講方法 1名につき <b>33,880円(税込)</b> 同一のお申込フォームよりお申込の場合、2人目以降 <b>27,500円(税込)</b> ※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金 <b>11,000円(税込)</b> で承ります。
●お申込方法	二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。 折返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送りいたします。 お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。 (セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参ください) ※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「 <b>開催1週間前まで</b> 」にお申し出下さい。 その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
●お支払方法	請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。  
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので受講証に同封の用紙でご連絡下さい。

■**ライブ配信について**  
 <1>Zoomにてライブ配信致します。  
 <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までにお送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加ください。

■**アーカイブ配信について**  
 <1>開催日より3～5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。  
 <2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用 URL をお送り致します。  
 <3>動画は配信日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

1月24日(金) 「知財・無形資産を活かすビジネスアーキテクト」 申込日 月 日

貴社名			
所在地	〒	○印をお付けください (ご自宅・お勤め先)	

いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)

<input type="checkbox"/> 会場受講		<input type="checkbox"/> ライブ配信		<input type="checkbox"/> アーカイブ配信	
フリカカナ氏名			所属部署・役職		
TEL	( ) -	FAX	( ) -		
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いします。				

※複数名様お申込の場合は下記にご記入をお願いします

いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)

<input type="checkbox"/> 会場受講		<input type="checkbox"/> ライブ配信		<input type="checkbox"/> アーカイブ配信	
フリカカナ氏名			所属部署・役職		
TEL	( ) -	FAX	( ) -		
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いします。				

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄	
-----	--

●E-mail アドレス登録受付 & ご紹介キャンペーン実施中[Amazon ギフト券(500円)を進呈いたします]  
 セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✓を入れて下さい。  
 ※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。  
 ※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい！ご紹介いただいた方には Amazon ギフト券(500円)を進呈させていただきます。  
 ※上記お申込フォームに、ご登録情報(貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職・メールアドレス)をご記入下さい。

詳細・お申込はこちら↓

■主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851



〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階  
 Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp  
 ※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。

25058-1